

在セネガル日本国大使館月報

2019年1月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 20日、憲法評議会は、大統領選挙候補者最終リストを発表し、サル大統領、イドリサ・セック、マディケ・ニャン、イッサ・サル及びウスマン・ソンコの立候補が認められた。カリム・ウッド元大臣及びハリファ・サル元ダカール市長については、有罪判決により、立候補は認められなかった。

(外政)

- 6日、セネガルを訪問した王毅中国外交部長は、カバ外相と会談した。
- 17日、第3回アフリカ新興国国際会議がダカールにて開会し、サル大統領、ケイタ・マリ大統領、マハティール・マレーシア首相、クリバリ・コートジボワール首相、UNDP総裁等が出席した。

ガンビア

- 5日、王毅中国外相は、ガンビアを訪問し、タンガラ外相及びバロウ大統領と会談した。
- 18日、バロウ大統領は、大統領府において山田外務大臣政務官と面会し、多国間及び二国間協力について協議した。

ギニアビサウ

- 13日、ブル委員長が率いるECOWASミッションがギニアビサウを訪問し、3月10日に予定されている議会選挙の準備状況につきヴァス大統領、ゴメス首相等と協議し、予定通りに選挙を実施することが重要であると再確認した。

セネガル

(内政)

内政一般

- 3日、最高裁判所は、ハリファ・サル元ダカール市長の上告を、十分な根拠なく受理不能として棄却した(4日 Le Temoin, L'Observateur 他)。
- エコノミスト・インテリジェンス・ユニットは、2018年民主国家ランキングを発表し、セネガルはアフリカ諸国の中で9位とされた(12・13日 Le Soleil)。
- 16日、サル大統領は、ジャムナジヨ第2政府庁舎ビルを落成した。同庁舎は、セネガルの銀行が融資しセネガル企業 Taylium が施工した。同庁舎には、高等教育省、水力省、観光省等の12省庁が入居する(17日 Le Soleil)。
- 17日、ハリファ・サル元ダカール市長は、有罪判決が確定したことを受け議員資格を失った(18日 Le Soleil)。

2019年大統領選挙関連

- 2日、憲法評議会は、2019年大統領選挙の立候補を提出した27名の大統領選立候補者のうち、マッキー・サル、ウスマン・ソンコ、イッサ・サル、ハリファ・サル及びカリム・ウッドの5名の有権者支持署名リストを

有効と認定した。(3日 L'Observateur 他)。

- 8日、憲法評議会は、二重署名等の瑕疵があり支持署名を再提出したイドリサ・セック候補及びマディケ・ニャン候補の支持署名リストを受理した。一方、同様に再提出していたマリック・ガク候補については、認証された支持署名数が必要数を満たさず、不受理となった(9日 Le Soleil)。
- 8日、ウスマン・ソンコ候補は野党候補者に対し大統領選挙ボイコットを提案したが、PDS党関係者は同提案に否定的な立場を表明した(10日 Le Quotidien)。
- セネガル・カトリック教会は、2月24日の大統領選挙第1回投票に全国各地に千人の選挙監視団を派遣すると発表した(10日 Le Soleil)。
- 14日、駐セネガルEU大使及びカバ外相は、大統領選挙におけるEU選挙監視団派遣に係る行政取り決めを署名した。本件派遣は、セネガル政府の要請に基づくもの(15日 Le Soleil)。
- 15日、カリム・ウッド元大臣やハリファ・サル元ダカール市長の支持者らが、ダカール大学等ダカール各地で投石やタイヤを燃やす等したため、治安当局は催涙ガスを使用し鎮圧した(16日 L'Observateur 他)。
- 20日、憲法評議会は、大統領選挙候補者最終リストを発表し、サル大統領(現職)、イドリサ・セック、マディケ・ニャン、イッサ・サル及びウスマン・ソンコの立候補が認められた。カリム・ウッド元大臣及びハリファ・サル元ダカール市長については、有罪判決により、立候補は認められなかった(21日 RFI)。
- 21日、野党側は、憲法評議会による候補者リスト発表の結果を拒否した上で、サル大統領との対立の選択肢しか残されていないとし、抗議キャンペーンを行う旨発表し、国民に動員を呼びかけた(22日 Le Soleil)。
- 24日、内務省は、2019年大統領選挙の有権者数は、6,683,043人、投票所は15,397か所であると発表した。右は、国内及び海外の有権者及び投票所を含めた数(26・27日 L'Observateur)。
- 25日、野党の若者支持者は、ダカール大学周辺で大統領選挙候補者発表結果等に抗議するためデモを行った際、治安部隊と衝突し投石等を行ったため、治安部隊は催涙ガスを使用し鎮圧した(25日 Dakaractu)。
- 28日、EU大統領選挙監視団代表は、サル大統領と会談し、選挙期間中合計約100名を派遣し、全14州における選挙準備及び実施過程をフォローし、選挙改善点に係る報告書を提出する旨述べた(29日 Le Soleil)。

治安関連・社会動静関連

- 15日、ジガンシオール東部の森林にて森林保護隊とカザマンス民主勢力運動に属すると見られる武装集団との間で衝突が発生し、隊員の1名が重傷を負った(15日 Panapress)。

(外政)

二国間関連

- 6日、セネガルを訪問した王毅中国外交部長は、カバ外相と会談した。カバ外相は、中国はンブール・ファティック・カオラック間の高速道路及び外務省新庁舎の建設、Smart City事業の資金拠出を行うと述べた(6日 APS)。
- 10日、サル大統領は、ダシルバ・セネガル・ギニアビサウ協力運営庁事務局長(元ギニアビサウ首相)と会談した。同局長は、同庁の活動等につき紹介した(10日大統領府コミュニケ)。
- 14日、セネガルとギニアビサウは漁業協定を署名した。同協定の有効期間は2年間であり、これにより、セネガルの漁民がギニアビサウ領海において漁業を行うことが可能になる(15日 Le Soleil)。

- 19日、カバ外相はラジヨエリナ・マダガスカル大統領就任式に出席し、同大統領と会談した(23日 Le Soleil)。
- 22日、セネガルとリベリアとの間で漁業協定が署名された。これにより、セネガル漁船300隻がリベリア領海にて漁業を行うことが可能となる(23日 Le Soleil)。

国際情勢・国連機関支援等

- 17日、第3回アフリカ新興国国際会議がダカールにて開会し、サル大統領、ケイタ・マリ大統領、マハティール・マレーシア首相、クリバリ・コートジボワール首相、UNDP総裁等が出席した。サル大統領は、アフリカ新興のために必要なインフラ整備は、脱税対策等で税収を確保し国内資源で賄うべきである旨述べた。マハティール首相は、マレーシアの発展に国家と民家セクターの強固な連携といった日本の発展モデルを参考にした旨述べた(18日 Le Soleil)。

日本関連

- 8日、Assane Seck ジガンショール大学に対する草の根無償資金協力の贈与契約が署名された。同支援は、総額79869ユーロに上り、同大学医学部の実習用機材が整備される(9日 Le Soleil)。
- 15日、ラリードライバーの篠塚氏は自身が2002年に建てた篠塚小学校の生徒に対し中古文房具を供与した。日本大使は、今回の支援は日・セネガル友好関係強化に貢献する旨述べた(15日 Le Soleil)。
- JICAが実施する仏語圏アフリカ医療機材管理者能力強化プロジェクトにより、仏語圏アフリカの60名の技術者が研修を受けた(26・27日 Le Soleil)。

(経済)

経済一般

- 14日、高等教育大臣は、フランス国立宇宙センターとの協力協定及びロケット開発企業である Ariane 社との合意議定書を署名した。同大臣は、本件協定により、大学での宇宙分野における人材育成プログラムが可能になる旨述べた(15日 Le Soleil)。
- 23日、国民議会は、全会一致にてアフリカ大陸自由貿易地域設立協定(Zleca)を批准した(24日 Le Soleil)。
- 24日、国民議会は、石油法及び石油・ガス開発におけるローカル・コンテンツ法を採択した。エネルギー・石油大臣は、同法は石油ガス開発における透明性やガバナンスを強化し、開発バリューチェーンにおける地元企業の参画を促進するものである旨述べた(25日 Le Soleil)。
- 29日、ワッカムにてCFAOが建設したグラスファイバーボート製造工場落成式が開催され、漁業大臣が出席した。同工場は、年間150隻を製造できる(30日 Le Soleil)。
- 31日、Air Senegalが発注していたAir Bus機1機の引渡式がブレーズ・ジャーニュ国際空港で開催され、サル大統領が出席した。同機は仏で試験飛行を経てから就航する(31日 APS, 2月1日 Le Soleil 他)。

インフラ関連

- 14日、都市高速鉄道(TER)第1フェーズ(ダカール・ジャムナジョ間)の落成式が開催され、サル大統領、及びルモワンヌ仏外務副大臣等が出席した。同フェーズは、総額6560億FCFAに上り、ADBが1200億FCFA、IDBが1970億FCFA、仏が1965億FCFA、セネガル政府が1425億FCFAの資金を拠出し、201

6年12月に工事が開始され、約2年間で完成した(15日 Le Soleil)。

- 20日、セネガルと韓国が資金拠出し取得された浚渫船等5隻の除幕式が開催され、サル大統領が出席した。同船は、サルーム地域での浚渫作業に使用される。(21日 Le Soleil)。
- 21日、ガンビア川に架かる Farafenni 橋(セネガル・ガンビア橋)の開通式が開催され、サル大統領及びバロウ・ガンビア大統領が出席した(22日 Le Soleil)。
- 22日、サル大統領出席の下、中国が有償援助して建設された約55kmのブレーズ・ジャーニュ国際空港・ンブール・ティエス間高速道路の開通式、同じく中国が有償援助して建設される100kmのンブール・ファティック・カオラック間の高速道路の着工式が開催された(23日 Le Soleil)。

カーボヴェルデ

- 17日、日本政府による2017年度食糧援助の約6千トンの2億1500万エスクード(約190万ユーロ)相当の米がプライア港に到着した(17日 Rtp)。
- 25日、フォンセカ大統領はサル島でソウザ・ポルトガル大統領と会談し、CPLPのカーボヴェルデ議長国及びベネズエラ情勢等について協議した(25日 Inforpress)。
- 25日、フォンセカ大統領はサル島でロウレンソ・アンゴラ大統領と会談し、CPLP及び両国関係等につき協議した(25日 Inforpress)。

ガンビア

- 5日、王毅中国外相は、ガンビアを訪問し、タンガラ外相及びバロウ大統領と会談した。バロウ大統領は、中国からの農業分野における支援を呼びかけた(7日 The Point)。
- 15日、トルコによる140万ドル相当の非致死軍事機材のガンビア軍への供与式が開催された(16日 The Point)。
- 18日、バロウ大統領は、大統領府において山田外務大臣政務官と面会し、多国間及び二国間協力について協議した。同大統領は、特に農業・漁業分野における日本の支援に謝意を表明した(19日 Namos)。

ギニアビサウ

- ギニアビサウ国家選挙委員会(CNE)は、3月10日実施予定の同国議会選挙の選挙運動期間を、2月16日から3月8日までとすると公式発表した(4日 RFI)。
- 13日、ブル委員長が率いるECOWASミッションがギニアビサウを訪問し、3月10日に予定されている議会選挙の準備状況につきヴァス大統領、ゴメス首相、国家選挙委員会関係者等と協議し、予定通りに選挙を実施することが重要であると再確認した(14日 ECOWAS コミュニケ)。

(注) 本月報は、セネガル・カーボヴェルデ・ガンビア・ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)